

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 6 月 15 日

事業名称		かみきただい児童館運営費[かみきただい児童館運営事業]										
予算科目	款 3	民生費	項 2	児童福祉費	目 6	児童館費	事業番号	2				
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	青少年			課	青少年育成			係	課長名	石川 博隆		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 4			
【施策名】 児童福祉の推進								総合計画書 (ページ)	59			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	周辺に住む0～18歳未満の乳幼児・児童とその保護者。 →				市内の0～18歳未満の乳幼児・児童数 (令和2年3月1日現在)							
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)							
	①児童館を児童が遊びや行事、クラブ活動を通して成長できるようにする。 →				①児童の来館者数(延べ人数) ②乳幼児・大人の来館者数(延べ人数) (1) 乳幼児 (2) 保護者							
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
	①児童の居場所の提供。児童向け行事の開催。ランドセル来館の実施。 →				①年間実施回数 (1) 児童向け行事 (2) ランドセル来館 ②年間実施回数 (1) 乳幼児向け行事 (2) 1歳児親子サークル/2歳児親子サークル							
3 経費			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標		令和3年度目標		
	対象指標	①の数値	人	13,737	13,533	13,328						
	成果指標	②の数値	人	①11,443 ②(1) 2,731 (2) 2,306	①10,055 ②(1) 2,027 (2) 1,769	①10,622 ②(1) 1,897 (2) 1,635						
	目 標	②の目標値										
	目標値設定の考え方											
	活動指標	③の数値	回	①(1) 107 (2) 176 ②(1) 21 (2) 20/25	①(1) 87 (2) 267 ②(1) 21 (2) 19/24	①(1) 32 (2) 288 ②(1) 16 (2) 19/23						
	財源	事業費(実績)		円	8,204,099	8,318,987	8,655,584		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
		一般財源		円	7,983,399	7,085,157	6,619,664					
特定財源		円	220,700	1,233,830	2,035,920							
(うち受益者負担)		円	20,070	18,830	18,920							
所要人数(再任用以外)		人	1.0	1.0	1.0							
所要人数(再任用)		人										
職員人件費(再任用以外)		円	8,253,000	8,244,000	8,310,000							
職員人件費(再任用)	円											
事業費+人件費		円	16,457,099	16,562,987	16,965,584							
4 環境変化等	(1) 開始年度 昭和51年度											
	(2) 環境の変化 通常の児童館運営の外、学童の待機児童対策の一環として平成20年度よりランドセル来館事業を開始し、現在では学童と独立した児童預かり事業として機能している。 また、子育て支援の必要性が高まり、児童のみならず、乳幼児とその保護者を対象にした子育て支援事業についても取り組んでいる。											

事業名称	かみきただい児童館運営費[かみきただい児童館運営事業]			
担当部署・課長名	子育て支援	課	青少年育成	係 課長名 石川 博隆

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	特になし			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない	⑧行事でのボランティア募集		
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）			
	・子育てひろばとして乳幼児親子に対応できる知識のある職員が一部に限られる。 ・乳幼児親子の来館者数が減少している。来館者を増加するための対策の検討が必要である。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
	・職員同士で知識や情報を共有し、可能な限り対応できるようにする。 ・平成31年度から「子育てひろば」を実施している旨を、市報・ホームページ、児童館だより、館内のポスター掲示により市民に周知した。また、館内の幼児室の環境整備を行い、さらに乳幼児向け行事の周知を行った。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
・知識習得のため職員の研修への参加、研修内容等他職員への情報共有を行う。 ・乳幼児親子の来館者に積極的に声掛けを行い、日頃から職員一人一人が親子サークルや乳幼児向け行事の周知を行う。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 児童福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 ・職員一人一人が常に知識を習得するよう心がけていなければならない。 ・乳幼児向け行事や親子サークルの周知方法について、子どもの月齢等に適した行事を周知し、積極的に行事内容のポイント等を分かりやすく周知しなければならない。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・職員一人一人が共通の認識を持つ。 ・乳幼児向け行事や親子サークルの周知方法について、打合せの際に全職員が分かりやすく説明できるよう情報の共有を図らなければならない。			